

資料 3

【発達障害児者地域生活支援モデル事業】
「基本プラットホームを導入した幼児期ペ
アレント・トレーニングの実施・検証」
及び「強度行動障がい事例へのコンサルテー
ションの効果・検証」について

「基本プラットホーム」を導入した 幼児期ペアレント・トレーニングの実施・検証

現状の取組

- ・ペアレント・トレーニング(以下、PT)については、平成26年度から開始し、幼児期、学齢期(低学年・高学年)、思春期と年代別にグループ編成を行うことで、各年代での環境やニーズを踏まえて実施している。
- ・実施にあたっては、幼児期はアスペルデ式PT、学齢期及び思春期は奈良式PTに基づき、児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応方法を学ぶ講座を開催する。
- ・実施者(スタッフ)については、外部の専門家にファシリテーターを依頼するだけでなく、エルムおおさかの職員にはPT養成研修を受講のうえ、各年代の連続講座においてサブリーダーとして実践的に関わることで、ファシリテーターを担う人材養成にも取り組んでいる。

事業方針

- ・厚生労働省障害者総合福祉推進事業の成果物である「ペアレント・トレーニング実践ガイドブック」及び「ペアレント・トレーニング支援者用マニュアル」(いずれも一般社団法人日本発達障害ネットワークJDDnet作成)を踏まえて実施する。
- ・上記成果物に記載する「PT基本プラットホーム」を幼児版プログラムに応用し、新人・経験者各1名がペアとなり、ファシリテーターとして幼児期グループでの連続講座の進行を担い、PT受講者への事前事後アンケートにより「PT基本プラットホーム」の効果検証を行う。
- ・また、新人・経験者ファシリテーターへのアンケート・聴取により講座進行及び人材養成の手法の効果・検証を行いフィードバックすることで、地域におけるPT実施の普及を図る。
- ・幼児・学齢期(低学年・高学年)・思春期の年代別グループへの応用内容についても検討する。

具体的取組

- ①PT受講前と受講後支援における子育てに対する自信・理解度・ストレス度及び新人ファシリテーターのPT実施者としての自信度や経験者ファシリテーターの新人養成の自信度を検証するためのアンケートを作成、および基本プラットホームに基づく幼児版プログラムを作成
- ②新人ファシリテーターが担当する幼児期2グループにおいて、事前面談と計6回の連続講座(講義・グループワーク・ロールプレイ)を実施
- ③受講者に対してはアンケート調査、新人・経験者ファシリテーターに対してはアンケート調査と聴取を実施
- ④外部講師と経験者のファシリテーターに対して、年代別グループへの応用内容に関する聴取を実施
- ⑤調査結果のまとめ・報告

スケジュール

R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
①アンケート作成・幼児版プログラム作成										
				②PT幼児期2グループ講座						
				③アンケート調査・聴取						
				④年代別グループ検討				⑤調査結果まとめ・報告		

「強度行動障がい」事例へのコンサルテーションの効果・検証

現状の取組

- ・大阪市では平成25年度より自閉症支援の専門家の協力のもと、成人期の発達障がい者支援を行う事業所4～5か所/年を対象に、各事業所に対して年4回の訪問コンサルテーションを行い、事業所スタッフのスキルアップを目指す「成人期スキルアップ事業」を実施、これまでに延42か所の事業所が参加された。
- ・事業内容としては、初めに成人期基礎講座を行い、機関コンサルテーションを希望する事業所に対しガイダンスを行い、年4回のコンサルテーションを実施、以後事業所内での取組み内容やコンサルテーション実施後の変化をまとめ報告会・実践報告会を行う。

事業方針

- ・コンサルテーションにあたっては、厚生労働省障害者総合福祉推進事業の成果物である「強度行動障害支援者養成研修を現場で生かすためにコンサルテーション導入ガイド」(一般社団法人全日本自閉症支援者協会作成)を踏まえて実施している。
- ・成人期スキルアップ事業としてコンサルテーションを実施した事業所の利用者には、強度行動障がいがある方も多く、これまでに実施したすべての事業所を対象にアンケート調査を行い、コンサルテーション導入による現場での支援に関する効果検証を行う。

具体的取組

- ①過去9年間に参加された事業所において、強度行動障がいがある方を対象としていたケースを把握
- ②コンサルテーション実施前と実施後における強度行動障がい者への支援に対する自信度・理解度・ストレス度や、コンサルテーションを導入した効果を検証するための調査項目を精査し、アンケートを作成
- ③42か所の事業所にアンケート調査を実施し、その中で複数の事業所を抜粋して(特に好事例について)個別聴取の実施
- ④アンケート、聴取内容と過去の事例報告(取り組み内容、コンサルテーション実施後の変化、コンサルテーションの評価等)を分析し、コンサルテーションの効果検証の実施
- ⑤調査結果のまとめ・報告

スケジュール

R4年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
①対象ケースの把握										
		②アンケート作成				③アンケート調査・聴取				
							④分析・効果検証			
								⑤まとめ・報告		